

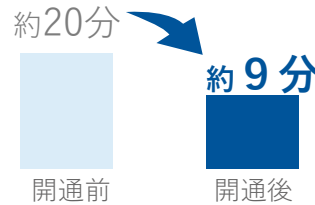
# 4. 都市活動や都民生活を支える公共交通ネットワークの充実強化 インフラ・交通

## 政策目標

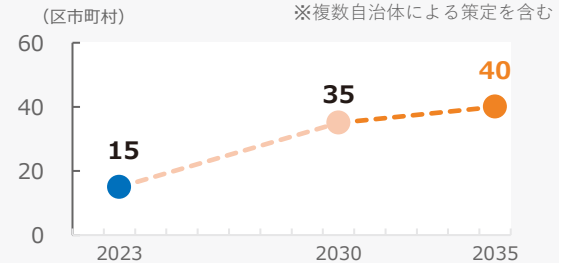
### 2030年代半ばの開業を目指して事業を推進

- ・東京8号線（有楽町線）延伸
- ・都心部・品川地下鉄
- ・多摩都市モノレール延伸（箱根ヶ崎方面）
- ・羽田空港アクセス線（東山手ルート）

<東京8号線（有楽町線）延伸の整備効果>  
住吉駅から豊洲駅へのアクセス時間が、現在の約20分から、乗り換えのない約9分に短縮



### 地域公共交通計画策定 区市町村数を40まで増加



## 3か年のアクションプラン（主要）

具体的な取組	2024年度末（見込み）	年次計画		
		2025年度	2026年度	2027年度
鉄道ネットワークの整備	都市計画決定 （東京8号線延伸、都心部・品川地下鉄、多摩都市モノレール延伸（箱根ヶ崎方面））	関係者との協議・調整（調整がついた路線から順次事業に着手）		
スムーズビズの推進		HPや動画、広告等による広報活動の展開、企業等への呼びかけの実施、アンケート調査等による定着状況の把握		
鉄道の快適な利用に向けた対策の検討		施策の展開に向けた検討、施策の周知・啓発活動		
地域公共交通の充実・強化（区市町村支援）	計画策定： 17/62自治体 移動手段導入： 39/62自治体	区市町村の地域公共交通計画の策定や地域ニーズに応じた輸送手段の導入を技術的・財政的に支援		新たな基本方針に基づく支援
デジタル技術等を活用した交通結節点の改善	誰もが使いやすい交通結節点の実現に向けた取組に着手	区市町村との連携によるデジタルサイネージを活用した実証実験など		新たな基本方針に基づく取組を支援
駅まち一体開発の推進		【飯田橋駅】周辺開発に併せて基盤整備を実施 【新橋・有楽町等】基盤整備の検討、開発との調整、基盤整備の促進		
舟運の活性化		交通手段としての航路の定着に向けた検討・支援 DXの活用等による利便性・認知度向上		

## 2035年への展開

- 国際競争力の強化、多摩地域の活力・魅力向上、鉄道の快適な利用の実現などに資する鉄道ネットワークの整備・充実等について計画的に推進
- スムーズビズによる広報展開等を通じ、鉄道の快適な利用に向けた取組を推進
- 地域公共交通計画を策定する区市町村数を40まで増加
- 区市町村と連携した、誰もが使いやすい交通結節点の実現に向けた取組を推進
- 便利でにぎわいのある交通結節点の創出に向け、周辺開発が見込まれる駅において、駅まち一体的開発を計画的に促進
- 舟運の航路が充実し、舟運が身近な移動手段として定着